

千葉県会 会報

第 5 8 号
平成 13 年 8 月 31 日発行

発行 (社)日本経営士会千葉県会
会長 金子 昭
〒275-0026 習志野市谷津 7-7-63-201
TEL 047-471-0355 FAX 047-471-0453
編集 事務局 副会長 原 弘行 (会報担当) 鈴木伸一

去る平成 13 年 5 月 19 日、社団法人日本経営士会千葉県会の定時総会が実施されました。本部より予算の内示がないという変則的な状況の中、実施された定時総会は、予算案を示すことができないという結果となりました。その経緯については本会報上にて金子会長より説明がございます。また、本会報も予算の裏付けがなく、また収支予算案の策定を待っての編集となった都合上、発行が大幅に遅れましたことを深くおわびいたします。

ごあいさつ

会長 金子 昭

21 世紀がスタートし、経済環境が激変するなかで、会員諸侯におかれましては、経営コンサルティング、教育、経営研究活動等さまざまな分野においてご活躍のことと拝察申し上げます。

日本経済は未だかつて経験したことがない構造的な変化に直面しております。低迷していた国内景気に欧米発の IT 不況が追い打ちをかけ、製造業を中心に企業収益に厳しさが増してきております。先行きの不透明さにより、企業の設備や個人消費が萎縮する気配も強まって、景気の行方はどのようになるのか、企業経営の舵取りをどうすればよいのか、非常に難しい局面に立たされております。

(社)日本経営士会においても、去る 5 月 17 日付けにて伊藤会長名により、改革案なるものが提示され各会員に送付されましたが、特に、産業支援部については、今日にいたるもいまだに細部にわたるガイドラインが示されておられません。

当 千葉県会におきましては、5 月 19 日が総会日であり、本部提案の改革案が未到着のうえ、支部交付金が全く不明のなかで行われましたので、予算案なしという前代未聞の結果となりました。このような状況のなかで本年上半期は従来通りの事業計画に基づき実施し、下半期は内部研修・研究会に加え外部志向として、組織活性化「社会貢献・支援活動」として、「人材能力開発支援プログラム」を開発し、支部並びに本部へ 8 月 6 日付けにて申請致しました。このプログラムは、地域企業の人材発掘から人材育成のため、企業団体等へ千葉県会会員の英知を提供して、企業経営の向上に貢献することを目的としています。その内容は、主に 6 つの事項を 7 つのコースで研鑽していただくというものです。

6つの事項

1. 現在の事業で市場性があるのか
2. 現在の事業の収益力はどのくらいあるのか
3. 事業としての安定性は確保できているのか
4. 現在の事業のビジョンは明確か
5. 人材を育て事業に貢献されているか
6. 事業のタイミングを間違えていないか

7つのコース

1. 経営戦略・企画力強化コース
2. 生産・品質・技術力強化コース
3. 営業力強化コース
4. 人事・労務戦略コース
5. 財務力強化コース
6. 情報技術化・事務管理コース
7. 管理者能力向上コース

以上のとおりにて、小泉政権ではないが、“改革なくして成功なし”皆様方の絶大なるご協力をお願い申し上げる次第です。



千葉県会定時総会

平成 13 年 5 月 1 9 日 13:30 ~ 14:30 懇親会 17:00 ~ 19:00
千葉市 ぱ・る・るプラザ CHIBA にて開催

- 第 1 号議案 平成 12 年度事業報告
 - 第 2 号議案 平成 12 年度収支報告および監査報告
 - 第 3 号議案 平成 13 年度事業計画(案)の承認
 - 第 4 号議案 平成 13 年度収支予算(案)の承認
 - 第 5 号議案 その他付議条項
- 報告事項

千吉良北関東支部長を来賓としてお迎えし、定刻に開催。金子県会長、千吉良北関東支部長の挨拶に続き、議長選出、書記、議事録署名人の指名後、上記議題について、第 4 号議題を除き審議・承認された。また第 4 号議題の平成 13 年度収支予算(案)の承認については、役員会に一任とされた。

総会終了後、玉川大学の大藤正助教授による「QFD とナレッジマネジメント」に関する記念講演会（講演記録をご覧ください）が行われ、その後引き続き懇親会が開かれ盛会なうち閉会した。



和やかに行われた懇親会
大藤先生を囲んで

記念講演会

玉川大学 大藤正 助教授

「QFD とナレッジマネジメント」

平成 1 3 年度行事予定

研修・研究会名	月例研修会・MPP	企業経営研究会	北総地区研究会	ISOコンサルティング研究会
事務局	佐藤 昭保	鶴岡 義明	染谷 文夫	若月 英司
4月	28日(土) 船橋勤労市民センター 役員会 13:00~14:30 月例研修会 14:30~16:30「新入会員を囲む会」佐藤光生会員、轟木一三会員			14日(土)13:00~16:30 「ISO9001:2000年対応」 船橋市中央公民館
5月	12日(土) 我孫子市民プラザ 各研究会の監査および総会 13:00~15:00 北総地区研究会 15:00~17:00「ISO9001:2000年改定のポイント」河井成夫会員			
	19日(土) 千葉市 ぱ・る・るプラザ CHIBA 定時総会 13:30~14:30 月例研修会 14:40~16:40「QFDとナレッジマネジメント」玉川大学 大藤正助教授 懇親会 17:00~19:00			
6月	30日(土) 役員会 11:00~12:00 MPP研修会 14:00~17:00 習志野市大久保公民館	9日(土) 14:00~16:30 「リスクマネジメント」 石渡善紹会員 習志野市大久保公民館		
7月	28日(土) 14:00~16:30 「人材育成とコンピテンシー」 吉谷健二会員 船橋市勤労市民センター			25日(水) 月島機械(株)市川工場 見学会
8月				
9月	22日(土)13:30~16:30 「IT革命の現状とわれわれの取り組み方」 鈴木伸一会員 習志野市大久保公民館	8日(土) 企業見学会(中止)	29日(土) 13:30~16:30 「教育研修の最近の動向」 岩野邦久会員 柏商工会議所 402号室	
10月	6日(土)14:00~16:30 「会計革命 Part 」 金子 昭会員 習志野市大久保公民館	13日(土) 13:30~16:30 「パソコン財務初歩から応用まで」PART(1) 佐藤昭保会員 習志野大久保公民館		20日(土) 13:30~16:30 「ISO14001 認証取得 体験報告会」 岩野邦久会員 船橋市中央公民館
11月		17日(土) 13:30~16:30 「パソコン財務初歩から応用まで」PART(2) 佐藤昭保会員 習志野大久保公民館		
12月	1日(土) 3会合同研修会	15日(土) 13:30~16:30 「パソコン財務初歩から応用まで」PART(3) 佐藤昭保会員 習志野大久保公民館		
14年 1月			26日(土) 13:30~16:30 我孫子市民プラザ	
2月	16日(土)~17日(日) MPP研究会 国民宿舎「しおさい」			
3月				日時・場所未定 「ISO14001 認証取得 支援体験報告会」 川崎秀雄会員他

各詳細につきましては、各研究会の事務局までお問い合わせください。

QFD とナレッジマネジメント 講演記録

講 師 玉川大学 大藤 正 助教授

平成 12 年 5 月 19 日(土)

ば・る・るプラザ CHIBA

QFD (Quality Function deployment : 品質機能展開) とは、顕在ニーズから潜在ニーズまでの流れを探る体系である。それにより具体的な製品開発につなげることができる。

顧客ニーズの把握方法には多くの方法が行われてきた、例えば照合調査、・・・などであるが、実際に顧客自身の明確に把握していない潜在的な要求を捉えることは難しい。

顧客の潜在的な要求を捉えるために、グループインタビュー (ミラーグラスのある部屋で他の部屋から状況を観察することで潜在ニーズを探る) や、アンテナショップでの顧客行動調査 (顧客の商品購入までの行動を逐一記録し潜在ニーズを探る) などが行われている。

抽象のハシゴという概念がある。「酒」はお金を出しても買えない。なぜなら「酒」は抽象的なラベルであり、具体的な商品ではないからである。具体的商品と抽象的なその上位概念の階層を抽象のハシゴという。具体的になれば購買行動がおこせるが、抽象的な状態では購買行動をおこすことができない。実際に顧客のニーズは一般的に抽象度が高く、顧客は最初から具体的にニーズをいうことはない。

デプロイメント (deployment) とは展開の意味である。抽象的な概念を具体的な商品機能に展開することにより、顧客ニーズに合致した商品を開発することができる。

機能展開を行うには商品に求められることを具体的な言葉にしてみることから始める。名詞 + 動詞で表されているものは商品の機能を表現している。その名詞や動詞に対する修飾語で表されるものは品質を表現している。

品質の JIS での定義は、「品物又はサービスが、使用目的を満たしているかどうかを決定するための評価の対象となる固有の性質・性能の表示」である。しかし同じ商品でも、どの機能、品質に重きをおくかで求められる品質・製品が違ってくる。

使用価値ポテンシャルとしての品質のサイクルという考えがある。原材料 - 素材の品質 - 部品 - 組み立て品 - 製品の品質 - 物流品 - 店頭品 - 商品の品質 - 購買品 - 使用品の品質 - 消耗品 - 耐久品 - 再利用品の品質 - 中古品 - 再生品 - 破棄の品質 - 廃棄物 原材料へ再利用と製品の流れの中でそれぞれの品質があるという考えである。

機能展開を実際に行うには、 原始データの収集、 原始データから要求項目への変換 (利用シーンから時系列のシナリオへ展開する) 要求項目を整理しラベル化する、 品質要素を抽出する、 品質要素を展開する (品質要素 品質要素 品質特性) の順で行う。その後検証のため、a. 品質機能展開表上で再度展開しなおし、 b. 検証用アンケートの実施を行う。

機能展開された商品を、具体的に設計するには、アンケートの結果をもとに、要求品質の対応関係を数値化する 重要度 市場の要求の重要性を把握し、企画品質を設定することが必要である。その企画品質を製品化することにより顧客ニーズに合致した商品開発を行うことが可能になる。

記 鈴木 伸一

会議・研究会報告

3月 月例研修会

平成 13 年 3 月 24 日(土)

場 所 習志野市大久保公民館

テーマ カイロを利用した健康管理 講 師 佐藤昭保 会員

参加者 金子 昭、若月英司、轟木一三、吉井秀成、鶴岡義明、林 久雄、吉谷健二、
染谷文夫、藤江隆平、河井成夫、鈴木伸一、驛 忠雄

ISO コンサルティング研究会

平成 13 年 4 月 14 日(土)

場 所 船橋市中央公民館

テーマ ISO9001 : 2000 年版への対応

講 師 近江堅一 会員(ISO9000 主任審査員)

参加者 岩野邦久、上田隆一、宇賀田登茂男、驛 忠雄、榎田國男、遠藤英雄、近江堅一、
金子 昭、河井成夫、川崎秀雄、北島万洲夫、紺野貴裕、佐藤昭保、佐藤光生、
鈴木伸一、鶴岡義明、林 久雄、藤江隆平、眞武清志、吉井秀成、若月英司

- 1 . ISO9001 : 2000 年改正の核心
- 2 . 方針管理の進め方

第 1 回役員会

平成 13 年 4 月 28 日(土)

場 所 船橋市勤労市民センター

参加者 金子 昭、若月英司、轟木一三、吉井秀成、鶴岡義明、
染谷文夫、河井成夫、宮脇顕一、鈴木伸一

- 1 . 本部関連 “ 2001 年 社団法人日本経営士会改革 ” について
- 2 . 1 2 年度千葉県会定時総会に関する事項

新入会員を囲む会

平成 13 年 4 月 28 日(土)

場 所 船橋市勤労市民センター

パネラー 佐藤光生会員、轟木一三会員

参加者 川本比呂史、金子昌夫、横山貞夫、松浦尚二、驛 忠雄、木下忠夫、長谷川大二、
紺野貴裕、金子 昭、宇賀田登茂男、吉井秀成、佐藤光生、佐藤昭保、轟木一三、鈴木伸一
今回初めての試みとして先輩諸氏からのアドバイスを新入会員に伝えました。また、不参加な
がら藤田会員より、新入会員へのプレゼントとして貴重な資料を提供していただきました。

企業経営研究会、ISOコンサルティング研究会、北総地区研究会、MPP 定時総会

平成 12 年 5 月 12 日(土)

場 所 我孫子市民プラザ

参加者 染谷文夫、山口義國、鈴木伸一、宮脇顕一、金子 昭、若月英司、岩野邦久、
鶴岡義明、佐藤昭保、驛 忠雄、高砂 巖、河井成夫
各研究会会計報告、事業報告、次年度予算案、事業計画案

北総地区研究会

平成 13 年 5 月 12 日(土)

場 所 我孫子市民プラザ

テーマ ISO9001 2000 年改定のポイント 講 師 河井成夫 会員

参加者 染谷文夫、山口義國、鈴木伸一、宮脇顕一、金子 昭、若月英司、岩野邦久、
鶴岡義明、佐藤昭保、驛 忠雄、高砂 巖、河井成夫
ISO9001 2000 年改定のポイント

企業経営研究会

平成 12 年 6 月 9 日(土)

場 所 習志野市大久保公民館

テーマ グローバル化に対応するリスクマネジメント 講 師 石渡善紹 会員

参加者 吉井秀成、松永清美、佐藤昭保、鈴木伸一、池木尊志、遠藤秀雄、藤江隆平、
河井成夫、岩野邦久、宇賀田登茂男、轟木一三、林 久雄、若月英司、佐藤光生、
金子 昭、鶴岡義明
グローバル化に対応するリスクマネジメントの 8 項目

6 月 月例研修会

平成 13 年 6 月 30 日(土)

場 所 習志野市大久保公民館

テーマ MPP 研修会 商社会社の IT 導入事例から IT 活用の建て直しを考える

参加者 岩野邦久、宇賀田登茂男、遠藤英雄、佐藤昭保、鶴岡義明、林 久雄、藤江隆平、
山口義国、吉井秀成、若月英司

第 2 回役員会

平成 13 年 6 月 30 日(土)

場 所 習志野市大久保公民館

参加者 金子 昭、原 弘行、吉井秀成、轟木一三、河井成夫、染谷文夫、宮脇顕一、
佐藤昭保、鶴岡義明、藤江隆平、若月英司

1. 平成 13 年度後期「事業計画・予算申請書」提出について
2. 能力開発講座申請について
3. 地域産業支援センター（仮称：千葉企業支援センター）設立準備について
4. 予算案作成について
5. 会員異動状況
6. その他（三支部合同 MPP 研究会、創立 50 周年記念式典、北関東フォーラム）

7 月 月例研修会

平成 13 年 7 月 7 日(土)

場 所 船橋市勤労市民センター

テーマ 人材育成とコンピテンシー

講 師 吉谷健二 会員

参加者 染谷文夫、金子 昭、若月英司、吉井秀成、鶴岡義明、吉谷健二、河井成夫、鈴木伸一、
伊澤 武、宇賀田登茂男、遠藤秀雄、石塚康生、石渡喜紹、岩野邦久、佐藤光生、
佐藤昭保、大河内国治、熊坂清弘、松永清美、金子昌夫

コンピテンシーをベースに人材育成を行うことで、業績向上と連動した育成効果を望める

第 3 回役員会

平成 13 年 7 月 15 日(日)

場 所 習志野市大久保公民館

参加者 金子 昭、原 弘行、吉井秀成、轟木一三、河井成夫、佐藤昭保、
鈴木伸一、若月英司

1. 能力開発講座申請について
2. 平成 13 年度後期「事業計画・予算申請書」提出について

ISO コンサルティング研究会

平成 13 年 7 月 25 日(水)

場 所 月島機械(株)市川工場

テーマ ISO14001 関連工場見学会

講 師 秦野工場長他 3 名

参加者 伊澤 武、石塚康生、上田隆一、宇賀田登茂男、榎田國男、遠藤英雄、河井成夫、
川崎秀雄、川本比呂史、佐藤昭保、佐藤光生、半谷正明、松永清美、宮脇顕一、
吉井秀成、若月英司

1. 環境機器の最近の開発状況説明
2. 工場見学
3. 月島機械(株)の ISO14001 取得事例説明
4. 月島機械(株)の ISO9001 取得事例説明

宇賀田登茂男 会員が書籍を発刊されました。

21 世紀の人事考課制度はいかにあるべきかを人事に豊富な経験と知識をもつ著者が書き下
るしたものです。ぜひご一読ください。

「達成感を育てる人事評定」

文芸社 4 月刊 四六版・並装・92 頁 定価 1,000 円(税別)

9 月 月例研修会開催のお知らせ

日 時 平成 13 年 9 月 22 日 (土) 13:00 ~ 15:00

場 所 習志野市大久保公民館 テーマ IT 革命の現状とわれわれの取り組み方

講 師 鈴木伸一 会員

IT 革命が吹き荒れる現代に「経営士として何ができるか」を考えるポイントを説明します。
ぜひ多数のご参加をお待ちしております。

北総地区研究会開催のお知らせ

日 時 平成 13 年 9 月 29 日 (土) 14:30 ~ 16:30

場 所 柏市商工会議所 402 会議室 テーマ 教育研修の最近の動向

柏市東上町 7-18 Tel.0471-62-3311

講 師 岩野邦久 会員

教育研修のプロが伝える「教育研修の最近の動向」を、ぜひ掴んでいってください。多数のご参加をお願いします。

参加申込は、染谷文夫会員まで、FAX でお申込ください。申込された方に会場地図をお送りします。

染谷文夫 会員 Tel & Fax : 047 - 341 - 6772

ISO コンサルティング研究会開催のお知らせ

日 時 平成 13 年 10 月 20 日 (土) 13:30 ~ 16:30

場 所 船橋市中央公民館 テーマ ISO14001 認証取得体験報告会

講 師 岩野邦久 会員

ISO14001 の認証取得体験を報告します。多数のご参加をお待ちしております。

10月 月例研修会開催のお知らせ

日 時 平成 13 年 10 月 6 日 (土) 14:00 ~ 16:30
場 所 習志野市大久保公民館 テーマ 会計革命 Part
講 師 金子 昭 会員

前回の Part に引き続き、会計革命の現状について説明いたします。ぜひ多数のご参加をお願いいたします。

パソコン財務会計入門講座開催のお知らせ

日 時 第 1 回 平成 13 年 10 月 13 日 (土) 13:30 ~ 16:30
第 2 回 平成 13 年 11 月 17 日 (土) 13:30 ~ 16:30
第 3 回 平成 13 年 12 月 15 日 (土) 13:30 ~ 16:30

場 所 習志野市大久保公民館 (いずれも)

テーマ パソコン財務初歩から応用まで

講 師 佐藤昭保 会員

パソコンを利用した財務会計を基礎からやさしく教えます。パソコンをまったくさわったことのない人でも、ぜひ多数のご参加をお待ちしています。

受講にはパソコンが必要です。裏面の案内状をご覧になり事前にお申込ください。

お願い

記事、投稿をお待ちしております。ご協力お願いいただける方は広報担当 鈴木までお送りください。

TEL&FAX: 0471-33-1303

MAIL: shin_suzuki@nifty.com

会員各位

平成 13 年 8 月吉日
(社) 日本経営士会 千葉県会
企業経営研究会 担当 鶴岡義明

「パソコン財務」研究会開催のご案内

残暑お見舞い申し上げます

さて、この度、千葉県会企業経営研究会の年間行事として県会報の研修日程に記載しておりました表記の件、「パソコン財務の初歩から応用まで」と題しまして、10月13日、11月10日、12月15日の3回にて、下記の要領で研修会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

参加ご希望者は下記までお申込ください。

尚、場所等の関係上、人数に制限がございますので、ご連絡は早めに FAX にてお願いいたします。

記

1. 研修内容

- 1) パソコンの初歩 簡単な入力方法、 パソコンのトラブル解決方法
- 2) 事務ソフト利用 ワード、 エクセル、 パワーポイント
- 3) 財務会計処理

ファイルの作り方、 前準備、データ入力、 日常帳票、 管理帳票、 摘要帳票、
経営分析、 決算処理、 予算・実績処理、 銀行振込等の作成

2. 使用機器 ノートパソコンを各自持参 (CD-ROM 機能付き)

3. 開催場所 習志野市大久保公民館

4. 開催時間 13:30 ~ 16:30 までの1回3時間

5. 申込先 FAX 0471 50 4538 (佐藤会員宅) Tel.0471-59-3419

6. 資料代 実 費

7. 参加人員 10名

8. 問合せ先 佐藤会員宅 Tel.0471 - 59 - 3419

参考

研修終了後は、自社の会計業務の処理ができること、併せて受講者のクライアントに対して会計処理と決算業務処理ができるような講座になることを予定しております。

以上

千葉県会予算案のご報告

遅れておりました千葉県会予算案が役員会で承認されましたので、会員の皆様にご報告いたします。本年度下期より予算請求を行い、本部との協議を経て予算が決定する形になりました。また注記しておりますが、事業費のうち社会貢献事業のみは事業計画を立て別途予算請求をすることにしております。

平成13年度収支予算(案)

(自)平成13年4月1日 (至)平成14年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

勘定科目	平成12年度予算	平成13年度予算	差異	備考
(1)支部交付金	(450,000)	(477,600)	(27,600)	
(2)事業収入	(20,000)	* (135,000)	(115,000)	* 総会・月例研修会 合計7回 (¥1000×135名分)
人材育成事業収入	20,000	135,000	115,000	
(3)雑収入	(10,000)	*1(70,000)	(60,000)	*1 経営士移行補助金 ¥60,000 その他 ¥10,000
当期収入合計(A)	(480,000)	(682,600)	(202,600)	
前期繰越金	266,381	245,522	20,859	
収入合計(B)	746,381	928,122	181,741	

2. 支出の部

(単位:円)

(1)事業費	(290,000)	(425,000)	(135,000)	*2 総会・月例研修会講師料、会場費、各 通信費、資料印刷費、3会合同研修会 分担金等
人材育成事業	80,000	*2 205,000	125,000	
社会貢献事業	0	*3 0	0	*3 別途予算請求
情報推進事業	210,000	*4 220,000	10,000	*4 広報費等
(2)管理費	(230,000)	(295,122)	(65,122)	管理費の総計は、交付金及び事業収入の 約40%とする
会議費	(140,000)	(140,000)	(0)	
総会費	60,000	60,000	0	
その他会議費	80,000	*5 80,000	0	*5 役員会(5回)、選管委(1回) 北関東支部主催 MPP 及びフォーラム 出席者費用補助を含む
事務費	(90,000)	(105,122)	(65,122)	
通信費	10,000	15,000	5,000	
交通費	50,000	*6 105,000	55,000	*6 役員会、選管委等
印刷費	5,000	10,000	5,000	
消耗品費	5,000	5,000	0	
雑費	20,000	20,122	20,122	
(3)予備費	(226,381)	(0)	(226,381)	
当期支出合計(C)	(746,381)	(720,122)	(26,259)	
当期収支差額(A)-(C)	266,381	37,522	228,859	
時期繰越金(B)(C)	0	208,000	208,000	

社会貢献事業計画の現状に関するご報告

能力開発支援プログラム準備委員
河井成夫、鈴木伸一

経営士会本部の改革案を受けて、広く産業社会、地元企業への貢献を目指した活動を本千葉県会でも企画しております。

(仮称)千葉県企業支援センターを設立し、その主たる事業として企業、各種団体向けの「能力開発支援プログラム」を提供していこうと考えております。内容は現在役員会で検討中ですが、大枠として下記のような7つのコースを検討しております。

経営戦略・企画力強化コース
生産・品質・技術力強化コース
営業力強化コース
人事・労務戦略コース
財務力強化コース
情報技術化・事務管理コース
管理者能力向上コース

各種団体などとタイアップして、このような無料講習会を実施します。講師代は経営士会の負担とし、広く本会が社会貢献を実現し、本会の知名度を向上することを目指します。

その広報の一環として千葉県経営者協会へ原副会長を通じて、企画趣旨の説明をして参りました。今後具体的な計画をお知らせできるかと思えます。

また、詳細な内容の次第は、各種研修会、会報等を通じて会員の皆様に説明して参ります。ぜひその場でも結構ですので、皆様の具体的ご意見等いただければと思っております。

今後とも会員諸士のご協力をお願いいたします。